

# CSRサイトレポート2023



写真: 赤堀花しょうぶ園(伊勢崎市)

**株式会社レゾナック**  
**伊勢崎事業所**

# 目次

伊勢崎事業所長 ご挨拶 .....	1
伊勢崎事業所概要 .....	2～3
無事故・無災害事業所の実現のために	
伊勢崎事業所 環境・安全衛生方針 .....	4
労働安全・衛生 .....	5～6
防災訓練 .....	7
環境保全のために	
環境負荷低減への取り組み .....	8
P R T R 対象物質の排出量 .....	9
廃棄物削減 .....	9
水質汚濁物質・大気汚染物質排出状況 .....	9
アルミ缶リサイクル活動 .....	10
地域・社会とのコミュニケーション	
事業所見学の実施 .....	11
地域社会への貢献 .....	11

## 伊勢崎事業所長 ご挨拶

2023年、旧昭和電工株式会社と旧昭和電工マテリアルズ株式会社は法人格を統合し、株式会社レゾナックとしての操業をスタートしました。

会社変遷があるなか伊勢崎事業所は、1969年（昭和44年）から50年以上に亘りこの地で、プラスチックの一つである熱硬化性樹脂の製造を中心に操業を続けてまいりました。

これは地域の皆様をはじめとし、多くの皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物でございます。改めて心から感謝申し上げます。

現在、当事業所で製造する製品は、スマートフォンや大画面テレビ等、各種ディスプレイに使用される素材をはじめ、情報通信分野を中心に、様々な生活必需品の中でご使用頂いております。

当事業所におきましては、災害・トラブルは絶対に起こさないという強い意志のもと、保安防災に関わる各種訓練をはじめ、化学物質の安全な取り扱い、環境負荷の低減等、様々な活動に取り組んでおります。

また、「化学の力で社会を変える」という全社パーパス（存在意義）のもと、事業所内外への貢献を意識した事業活動の推進により、持続可能な社会の実現に貢献するべく尽力していきます。

地域の皆様に対しましても、開かれた事業所であることを心がけ、安全・安心に配慮し、皆様に信頼される事業所を目指します。

加えて、多くの皆様に当事業所をご理解いただけるよう、事業所見学や近隣地域の清掃活動、インターンシップの受け入れ等、様々な活動にも積極的に取り組んでまいります。

この「伊勢崎事業所CSRサイトレポート」は、2022年一年間の取り組みと実績をまとめたものです。皆様に読みやすい、ご理解いただきやすい紙面づくりを心掛けております。

このレポートが伊勢崎事業所の諸活動をご理解頂く一助になり、皆様から、率直なご意見・ご要望を頂ければ幸甚でございます。



伊勢崎事業所長 廣 俊孝

# 伊勢崎事業所概要

## □伊勢崎事業所の立地

伊勢崎事業所は、群馬県と埼玉県の県境を流れる利根川に沿って位置する八斗島工業団地に生産拠点を構え、事業活動を行っています。

### 所在地・敷地面積

所在地	群馬県伊勢崎市 富塚町1019
敷地面積	60,642m <sup>2</sup> 2022年12月31日現在



## □レゾナックのスタートとなる2023年、伊勢崎事業所は54周年を迎えました

技術の発展や社会環境の変化に伴い、50年以上に亘って変化・成長をしてまいりました。

2023年は昭和電工(株)から(株)レゾナックへと生まれ変わって1年目の事業所運営となります。サステナビリティの理念を経営の根幹におく当社において、これまで以上に持続可能な社会の実現に貢献するべく、飛躍し続けます。

### 54年前の伊勢崎事業所(建設前)



### 現在の伊勢崎事業所



# 伊勢崎事業所概要

## □ 伊勢崎事業所の発展経緯

伊勢崎事業所は、1969年に昭和高分子株式会社の伊勢崎工場として誕生しました。

当初はホルマリンとエマルジョンの生産をしておりましたが、1996年にポリエステル製造課、2005年に電子材料製造課をそれぞれ設立しました。2010年に昭和電工株式会社と合併、2023年より株式会社レゾナック伊勢崎事業所となり、現在に至ります。

## 市場の変化や技術の発展に対応して成長



## □ 伊勢崎事業所の製品（電子材料用樹脂）

電子機器や表示機器の高性能化に伴い、素材となる樹脂の高機能化が必要となっています。当事業所では、スマートフォンや大画面テレビ等の各種ディスプレイに使用される高機能の樹脂を製造しています。

製造過程において精密な工程管理を行い、顧客の要求に合わせた製品を製造することで、高品質・高性能な製品を提供しています。

ディスプレイ用カラーフィルター(CF)用途の樹脂は、当事業所で製造したものが多く使われており、現在世界シェア約30%となっています。



## 伊勢崎事業所 環境・安全・衛生方針

伊勢崎事業所は、製品の製造・開発を通して、地球環境への調和と地域との共生を進め、安全・安心でグローバル社会の持続可能な発展に貢献すると共に、従業員、協力企業員、その他の関係者全ての人々が安全・安心、かつ健康で快適に働ける職場を目指し、以下の環境・安全・衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業員、その他の関係者全ての人々が協力し、事業所の環境・安全・衛生活動を押し進めていくものとする。

1. 「安全は全てに優先する」を基本として、「従業員の安全行動規範」及び「安全行動10 則」に基づく行動を実践し、無事故・無災害を目指し、従業員全員が自分ごととして安全衛生活動（危険予知、指差呼称、ヒヤリハット、災害水平展開、パトロール、5 S 等）を実施するとともに、継続的な改善を図り、より良い安全衛生文化の醸成に努める。
2. 作業・工事に携わる関係者全てが、安全を確保するための手順を作成し遵守すること・事前養生を確実に実施すること・適切な変更管理を実施すること・関係者内での情報共有を徹底することにより、事故・災害の未然防止を当たり前とする文化・風土を醸成し、実践する。
3. 設備・機械、作業、取扱化学物質のリスクアセスメントを抜け漏れなく実施し、リスクの低減活動を推進する。
4. 省エネルギー推進や、設計開発から廃棄までの製品ライフサイクル全体を通し、循環経済への貢献や温室効果ガスの排出削減に努める。
5. 化学物質の流出や有害物質による環境汚染など、人の健康や環境に悪影響を与える環境事故を防止するため、設備管理の徹底及び継続的な改善を図る。
6. 作業環境測定及び健康診断を確実に実施し、その結果に基づく作業及び作業環境の改善を推進する。
7. 従業員全員が心身共に健やかに活躍できる職場環境の実現のため、健康維持・増進活動を推進する。
8. 事業所で働く全ての人々が、健全且つ活発なコミュニケーションを図ることで、環境・安全・衛生活動を活性化させ、事業所を支えるための確固たる基盤の確立に努める。
9. 環境・安全・衛生関係の法令及び事業所の規程を正しく理解し、遵守する。
10. 事業所の環境及び労働安全衛生マネジメントシステムを適切に実施・運用して、環境安全衛生管理水準をスパイラルアップする。
11. SDGs の考えに基づき、事業活動を通して持続可能な社会の発展に貢献する。

2023年 1月 4日

株式会社レゾナック 伊勢崎事業所  
事業所長 廣 俊孝

## 労働安全・衛生

伊勢崎事業所では、『労働災害ゼロ』の実現に向けて、従業員と協力企業員が一丸となって様々な取り組みをしています。その主な活動を紹介します。

### □安全活動

#### (1) リスクアセスメント活動

作業および化学物質における潜在的な危険性・有害性を抽出し、それらを予防・除去・低減するための活動です。

#### (2) ヒヤリハット活動

ヒヤリとしたりハットしたなど、ちょっとしたミスや危険な体験を共有し、再発を防止する活動です。

#### (3) 災害水平展開活動

他事業所やグループ会社で生じた災害は、原因と対策案の展開、また必要に応じた対策の実施により、再発防止に努めています。

#### (5) 作業前KY（危険予知）活動

作業開始前に、その作業にどんな危険が潜んでいるかを事前に予測して防止する活動を行っています。

#### (6) 安全推進者活動

安全意識の向上を目的として、安全活動推進の意識と責任を持たせるため、毎月部署毎に安全推進者を指名し、パトロール、ヒヤリハット活動、指差呼称活動、作業前KY活動等、様々な安全活動を推進しています。

#### (7) 熱中症対策

夏季の作業では作業員の熱中症が懸念されます。WBGT計（暑さ指数計）の設置、予防サポート（教育、水分補給、塩分補給サプリメント）、声掛け等の対策を実施しています。

尚、伊勢崎事業所では、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、2013年1月にOHSAS18001の認証を取得、2020年7月にISO45001の認証へ移行しております。

## □安全祈念行事

過去に発生した事故を風化させないため、そしてその教訓をあらためて認識するため、毎年6月末～7月初めに「安全祈念日」を設け、安全意識を高めるための様々な行事を実施しています。

事業所代表と労働組合代表の安全メッセージの他、安全や防災の講演や、安全に関するグループディスカッション等、参加者全員で取り組める安全活動を行い、安全安定操業を最優先とする想いを全員で共有する日としています。



事業所長メッセージ



リスクアセスメントのグループワーク

## □指差呼称強化デー

毎週木曜日に指差呼称をより意識する「強化デー」を設定し、日常業務や構内歩行時のヒューマンエラーを低減するために有効な「指差呼称」を定着させる活動しています。

## □年末年始無災害運動

全国一斉に展開される年末年始無災害運動期間に、伊勢崎事業所で働く皆さんが、無事故・無災害で新年を迎えられるよう決意し、安全に関する取り組みを実施しています。



常駐協力企業を交えた安全大会



指差呼称活動（階段手摺確認）



労使合同指差呼称活動（道路横断安全確認）

## 防災訓練

伊勢崎事業所では、事業所内での火災や有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事故の拡大防止、消防等行政機関への通報、避難を含めた訓練を定期的に行っています。

通報を含む総合防災訓練では、伊勢崎消防署と合同で訓練を行う場合があり、実際の訓練通報や消火や避難の様様を見学していただき、緊急時対応の練度を上げられるような訓練を実施しています。

### □防災訓練

- (1) 2022年 5月 屋外タンク貯蔵所 アクリル酸内温異常対応訓練
- (2) 2022年11月 5月と同じシナリオで、人員を変えての代行者が対応する訓練



非常時組織班員招集の様子



事業所長による講評、訓話



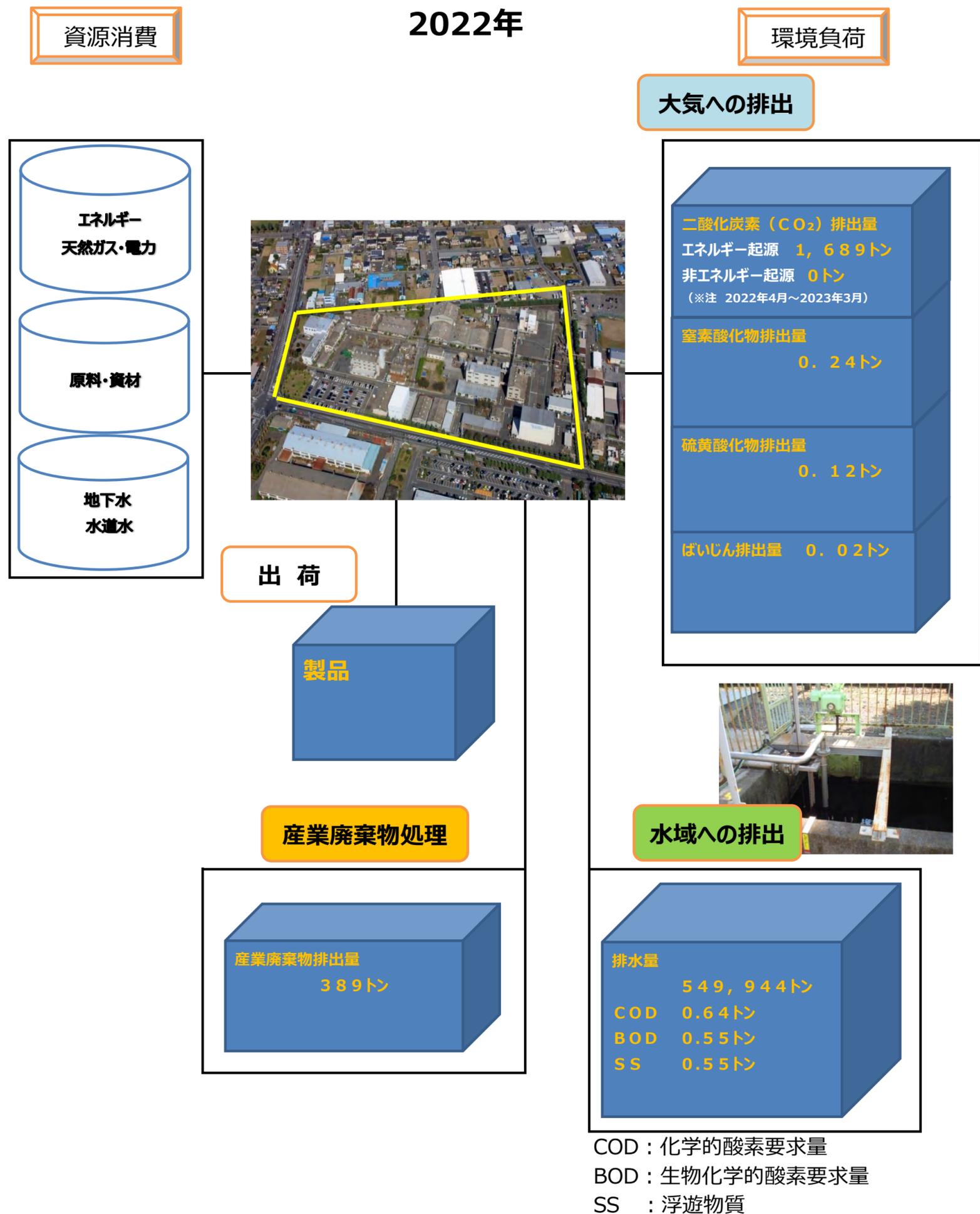
消火班による放水演習

環境保全のために

## 環境負荷低減への取り組み

伊勢崎事業所では、合成樹脂を製造するために、原料・資材、電気・天然ガス等の資源やエネルギーを消費しています。また、生産活動に伴って、排ガス・排水・廃棄物等の環境負荷が発生するため、環境に及ぼす影響の継続的な低減に取り組んでいます。

また、伊勢崎事業所では、環境マネジメントシステムを構築し、2003年8月にISO14001認証を取得しています。



## 環境保全のために

# PRTR対象物質の排出量

伊勢崎事業所では、PRTR対象物質（スチレン、トルエン等）の排出量等を把握し、その抑制に取り組んでいます。



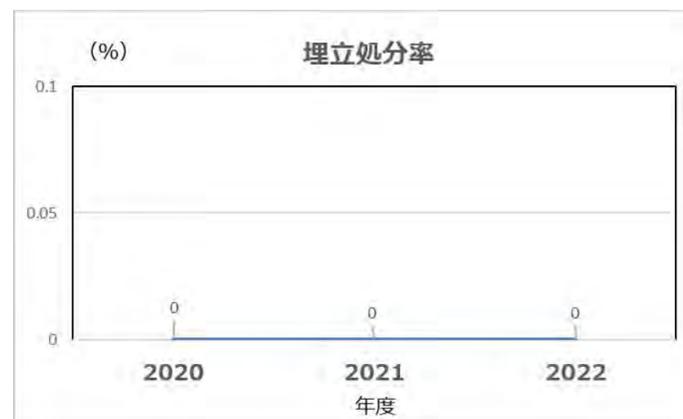
※2021年度以降のPRTR対象物質排出量が大幅に減少していますが、これはポリエステル樹脂の生産を計画的に他事業所へ移管したこと等によります。

※2022年度集計期間：2022年4月～2023年3月

## 廃棄物削減

伊勢崎事業所では、ゼロ・エミッション（最終埋立処分量が産廃発生量の0.5%以下）の継続を目標に、廃棄物削減の取り組みを行っています。

2022年度の年間産業廃棄物排出総量は389トン、埋立処分率は0%で、ゼロエミッションを継続しています。



※2022年度集計期間：2022年4月～2023年3月

## 水質汚濁物質・大気汚染物質排出状況

水質汚濁物質の排出総量に大きな変化はありません。法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。

大気汚染物質排出状況は、窒素酸化物及びばいじんを含め法定基準を下回っています。



※2022年度集計期間：2022年4月～2023年3月

環境保全のために

## アルミ缶リサイクル活動

株式会社レゾナック伊勢崎事業所では、アルミ缶リサイクル活動に取り組んでいます。アルミ缶のリサイクルは、アルミ資源の有効活用に加え、省エネルギーにも寄与します。アルミニウム地金製造時の電気使用量を、原料鉱石から生産する場合に比べて97%削減することができます。

伊勢崎事業所では、2010年にアルミ缶リサイクル活動を開始し、2013年からは近隣自治会で分別回収される使用済みアルミ缶の回収も行っています。

得られた収益は、自治体への還元や地元の福祉団体などへ寄付しています。



アルミ缶回収量



事業所で回収されたアルミ缶



アルミ缶リサイクル活動  
長沼本郷町へ表彰状授与

## 事業所見学会と地域社会への貢献

### ●事業所見学会の実施

伊勢崎事業所では、近隣の中学生・高校生を対象とした事業所見学会およびインターンシップを開催してきました。将来の進路を考えるきっかけとなる様、化学工業の現場に入らせていただきました。2019年、2020年はコロナ禍の影響で残念ながら中止としましたが、2021年と2022年は感染対策を徹底し、地域とのつながりを図る活動として、実施しました。

#### □近隣の中学生・高校生を対象としたインターンシップ(2022年)



### ●地域社会への貢献

事業所からの排水は、葦川を經由して利根川へと流れていきます。葦川は、事業所にとって関わりの深い大切な川です。2013年より、近隣自治会が主催する「葦川をきれいにする会」の活動へ積極的に参加しています。伊勢崎事業所有志が、自治会の方々と親睦を深めながら、普段お世話になっている川の清掃活動を行っています。

今後も更に地域に貢献し、地域のモデル会社となるような事業所を目指していきます。

#### □葦川をきれいにする会に参加



«本レポートに関するお問い合わせ先 発行元»

株式会社レゾナック 伊勢崎事業所 総務グループ

〒372-0833 群馬県伊勢崎市富塚町1019

TEL:0270-32-1151 FAX:0270-32-1158